

基本設計検討市民懇談会（2月26日）の結果

1. 全体概要

- (1) 日時：平成29年2月26日(日) 午前10時00分～12時00分
- (2) 場所：市役所3階第1委員会室
- (3) 参加者：一般市民（約60人）、協力者の有識者（4人）、市職員・手話通訳者・設計事業者等（約20人） 全体約80人
- (4) 進め方：現時点の基本設計案について、計8グループごとに意見交換を行い、その後全体に発表することで意見を共有する。

2. 協力者（有識者）

病院整備運営評価委員会専門部会長 立命館大学理工学部建築都市デザイン学科教授 及川先生
守山野洲医師会会長 福田先生
野洲病院 病院長 岡田先生
野洲市相談医 衛藤先生

3. 出された意見等

1 病院へのアクセス・車寄せについて		
1	周辺道路	(野洲中央線への) 丁字路に信号を付けてほしい。
2		駅前の自動車の混雑が心配である。
3		小学校通学路の安全を確保してほしい。
4	車寄せ	玄関(車寄せ)周りにはゆとりをもたせて、送迎車から降りて車椅子に乗りやすいスペースを確保してほしい。(天候が悪い日の送迎、来院)
5		車寄せで患者を降ろして、付き添って病院内に入れるようにしてほしい。
6		車寄せ付近にはベンチなどを設けて付き添いを待つことが出来るスペースにしてほしい。
7		車寄せ近くの時間外出入口は、診療時間帯も利用できる方がアプローチとしてはよいのではないか。
8	コミバス	病院への交通網になるコミュニティバスを便利にしてほしい。
9	駅～動線	野洲駅から直接病院へ入ることができるとよい。
10		バス停から雨に濡れずに病院へ入れるようにしてほしい。

2 駐車場・駐輪場について		
11	駐輪場	駐輪場は 40 台分で十分か。
12	駐車場配置	市民広場と立体駐車場の位置を逆にしてはどうか。
13		駐車場は、多方向から入れるようにしてほしい。
14	駐車場構造	高齢者にとって立体駐車場が安全に使用できるよう、傾斜はゆるやかに、運転しやすく、駐車しやすいよう配慮をしてほしい。
15		高齢者や身体の不自由な方は、敷地内の駐車場を希望するのではないか。
16		立体駐車場の 1 階から平面的に病院に入る人の安全を確保してほしい。(横断歩道など)
17		立体駐車場から病院へのスロープは、車いす利用者が使いやすくしてほしい。通路に手すりはあるか。
18	駐車場その他	立体駐車場の駐車台数 250 台で足りるか。
19		駅前立体駐車場となると一般の利用者が利用し、病院利用者が駐車できなくなるのではないか。
20		文化ホール利用者も立体駐車場が使えるか。病院専用か。
3 院内利便施設、計画中の交流/商業施設について		
21	院内利便施設	飲食できるスペースを十分に確保してほしい。
22		お茶のサービスがあるような休憩スペースがあるとよい。
23	交流/商業施設	託児所や子供を預けられるスペースを確保してほしい。
24		交流/商業施設と病院との連絡通路は絶対に必要なので確実に整備を。
25		交流/商業施設に、お見舞いの方が飲食できるスペースがほしい。
26		交流/商業施設には調剤薬局がほしい。
4 1階・2階・3階について		
27	1階	車いす用トイレが少ないのではないか。
28		救急の患者とは分離してほしい。
29		1階玄関の「ヘルスケアパーク」と2階の外来フロアを繋ぐのはエスカレータがよい。(階段とエスカレータ両方ほしい。)
30	2階	高齢者は自動受付機や自動精算機などの機械の操作が難しいので有人受付を利用したい。
31		トイレの数が少ないのではないか。
32		受付・会計の座席が少ないのではないか。
33		各科ごとに受付を配置したほうが良い。

34	3階	手術時の家族控室は狭いのではないか。またゆったりとした部屋で、温かみがある色調にしてほしい。
5 病棟について		
35	共用施設	デイルームが狭いのでは。2病棟共有のデイルーム以外に各病棟にも小さなスペースがあると良い。
36		セパレートできて家族のプライバシーが守れる構造がよい。
37		面談室、相談室を充実させてほしい。
38		病棟廊下は出来る限り広くしてほしい。(例：成人病センター)
39		入院中に利用できるシャワー室は数を多くしてほしい。浴槽の付いた浴室も設置してほしい。
40		入院中に使用できるようコインランドリーは必要。
41		入院中に荷物を保管できるロッカーなどがあるとよい。
42	病室	H型により明るい病棟になることは良いアイデアである。対面する室で見えないか。
43		病室は個室が多いほうが良い。(終末期対応など)
44		各個室にトイレと洗面所が必要。
45		雨音が気になる病院があったので、場所からも騒音が室内に入らない病室にしてほしい。
6 建物全体・外壁・設備等について		
46	外観	外壁は暖色(白系、ベージュ、薄いオレンジ色等)が良い。
47		デザイン重視で管理費がかかる建物はやめてほしい。極力シンプルで、明るいイメージの病院を望む。
48	共用設備	外来、病棟ともに車いすがすれ違うことができる廊下幅を確保してほしい。
49		エレベータの待ち時間が少なくなるようにしてほしい。
50	アメニティー	明るい空間で、ほっとできる環境、癒しの空間にしてほしい。
51		屋上を緑化してはどうか。散歩が出来てよい。
52	サイン等	電光掲示板など、聴覚に障がいがある方に配慮してほしい。
53		各科受付、院外処方の流れを分かりやすくしてほしい。
7 医療体制・医療サービスの提供について		
54	外来	予約制の徹底をはかる。(予約票の発行など)
55		紹介状のない患者から料金を取らないでほしい。(気軽に受診できるように)
56	地域包括	健康セミナー等を行って、みんなが行きたくなる病院になることを望む。

57		地域包括システム、在宅医療を推進してほしい。
58	医療サービス	高い医療機器に頼らず基本的な技術で医療を行ってほしい。
59		診療科について、耳鼻科をなくす理由についてお聞かせいただきたい。
60	診療科	心療内科を設置はしないのか。周辺病院では守山市民病院、大津市民病院以外では心療内科が設置されている。
61		脳外科を設置しないのか。
62		物忘れ外来を設置してほしい。認知症の患者の入院治療についても考慮いただきたい。

4. 協力者（有識者）からの講評、総括

〔福田先生〕

- 高齢者と身体障害者、子どもに優しい病院を作るということを医師会は求めている。通院、受付、会計がスムーズに安全に問題なくできるようにしていくこと。地域包括ケアと看取りの推進についても、医師会として守山と野洲の医師が集まる協議会をつくった。そこに守山市民病院と野洲病院の医師にも参加いただき、スムーズに地域包括や看取りが進むような仕組みを考えている。年内にまとまると次のステップで皆様のご期待に沿えるようになると考える。

〔岡田先生〕

- 病院の機能分化、病病連携、病診連携、在宅、訪問診療をマインドできる地域の中核としての役割をステップアップできるように、地域に愛され、皆様に来て頂ける病院を作ることができれば素晴らしいと感じている。良い市立病院ができるように協力していきたい。

〔衛藤先生〕

- これからの設計段階で、まだまだ採用したいご意見が多くあった。開業医の有志では在宅医療を行っている。野洲市民病院がバックにある中での在宅医療、後方支援をして頂き、お家での看取りができ、在宅医療と病院医療とのバランスが保たれることで、より安心できる地域医療が展開され、より良い福祉の向上に繋がると考えている。
- 小児救急も重要であり、野洲市民を守っていくようご意見を取り入れていただきたい。

〔及川先生〕

- 病院へのアクセスは、非常に複雑であり大きな問題であるので基本設計段階でしっかり考えてもらうようにリクエストする。
- 1階から2階へは階段かエスカレータか、については、しっかり吟味して回答を市民に返して頂きたいと考える。
- 待合については、待ち時間は皆様が苦痛にならないような工夫についてもリクエストしたい。諸室の分かりやすさについては、掲示板やサインに頼るのではなく、動線の分かりやすさについて設計で工夫してほしい。

- 病院の建築というものは特に難しいものであるため、今日皆様から頂いた意見をダイレクトにすべて組み込んでいくことは難しいが、市民病院なので、可能な限り皆様の意見で作りに上げていくようすることを大事にしていくようによろしくお願いいたします。

5. 市からの意見

〔市長〕

- 商業交流施設については、地域包括、子育て支援の機能は最大限に入れていく。図書館の機能、病院のセミナーや市民活動に使えるホール、商業部分には薬局スペース、花屋、喫茶店、軽食店のスペースを確保していきたい。
- 野洲駅は古い建物になっているので、将来の改築時には、2階通路から病院に入ることが出来るようJRと調整をしていきたい。
- ロータリーからのアクセスは、駅の渋滞と病院の受付時間と時間差があること、病院の玄関前のロータリー（車寄せ）には、障害者用スペース、送迎スペースも確保していきたい。
- 受付については、予約や待ち時間はスムーズに、呼び出しについてもプライバシーに配慮したシステムを考えていきたい。
- 診療科については、例えば内科の中で増やしていける部分もあるかと思うが、市民の方にとっての重要な部分に対応し、派生的、補助的に必要な部分のニーズに合わせて対応していく考え方である。
- 最終的な案についても、出来るだけみなさんの貴重なご意見を取り入れた案で夏にご提案し、最終ご確認いただくこととしたい。

〔担当政策監〕

- 駅周辺の混雑については、朝の渋滞は早朝に起きているため、病院の受付開始時刻と時間帯がずれるので運営面では支障がないと考えている。
- 一方通行に関する課題としては駅周辺の課題として捉えていく。
- 立体駐車場の安全性については十分考慮していく。